



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2010. 第 48 号



いつもお読みいただきまして、ありがとうございます。府中市紅葉丘の塗装店三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

ようやく涼しくなりましたね～！

もう、本当にこれを待ち望んでいました。

今年の暑さは尋常じゃなかったですよ。しかも、それが長かったですよね、お彼岸のころまで続いて……。

みなさま、体調は崩されていませんか？

大丈夫ですか……。大丈夫でしたら、何よりです。

「いつまで暑いのか……？」

なんてつい最近まで言っていたら、気がつけばもう10月も半ばです……。

今年もあと3カ月切りました。はやいものですね……。



■「誰に似たんだろうね……」

ウチの娘(6歳)が今年七五三です。10月の末にお参りに行く予定なのですが、

実はあの暑い夏のうちに写真だけは撮って置いたのです。

どうして、今年のあの異常な猛暑の中、わざわざ、スーツなんか着て写真を撮ったのか……

と、いうのも今、写真屋さんって

「早割」があって、早めに写真を撮っておけば、割引しますというサービスがあるんですね。

少しでも割安に・・・ということ、この
くらいの暑さ、なんのその・・・

と、というような勢いで写真屋さんに行った
わけです。



写真屋さんにつくと、さすがに涼しい～。

それはそうですよね。ここが暑かったら・・・。

娘はドレスや、着物は以前に来て決めてい
ましたから、さっそくそれらを着て、メイ
クをして撮影開始です。

着替えやメイクにも時間がかかりますが、
写真を撮るのも本当に長丁場ですよね。

一生、残るものなので良いものを・・・と
写真屋さんも真剣です。

体の傾け方や、笑顔や、振り向き加減なん
か・・・。素人にはわかりませんが、微妙
な違いで、善し悪しの分かれ目になってく
るのでしょね。

あれは疲れるだろうなあ・・・とはた
で見ていて感じました。

でも、一生残るものだし、がんばってま
したよ、モデルさん・・・。

途中で私たち夫婦も参加。

やっぱり色々注文が出ます。私なんか
それだけで、げんなりしてしまいました。

娘はエライ！です・・・。

そんなこんなで撮影も終了。終了しま
すと、即座に見られるんです。デジタルカメ
ラで撮影して、パソコンでみられるわけ
です。フィルムですと、こうはいきません。

表紙をどの写真にするか・・・を決めて
いる時、ドレスを着てお座りをしている写
真を選んだ娘。でも、写真さんが

「このお写真は横に広いから、見開きで
見た方がいいよ。表紙にもってくると“見
切れて”しまうから・・・」

と、丁寧に説明してくれたのですが・・・。

頑として、それを表紙にしたい娘・・・

でも・・・と私たちも説明したのですが、
それでもかたくなに表紙でいきたいと・・・。

「あれ、誰に似たんだろう・・・」

なんだか、後から可笑しくなっていました。

アルバムの形態も2種類あって、いわゆる「台紙があって、それに写真を貼って・・・」というアルバムと、

台紙がなく、アルバム自体が“ボード”のようになっている、それに直に写真を写りこませるというものがありました。こちらの方がもちろん、カッコ良くて、お値段もイイ・・・。

「こっちの台紙の方にしようか～？しっかりしているし、いいよ、これ・・・どうする？」

と何気なく普通のアルバムで話を落ち着かせようとした私たち夫婦の意見はこの数秒後・・・

ものの見事に却下されました・・・

最初から眼中になかったみたいです、そっちは・・・

でも、まあ一生のものだし、いいよね・・・

そんなこんなで写真屋さんを後にしたのでした・・・



■ 足場を“再度”かけるようですと大変です。

今は、インターネットで特定の塗装店さんに質問する方もいますが、インターネット自体に自分の質問を乗せて発信して、それに答えてくれる誰かがいて・・・という方法でお悩みを解決されている方もいらっしゃいますね。

そんな質問の中に「足場はかけないでコロニアル屋根を塗装していただこうと考えています・・・」というような、内容のものを先日見つけました。

でも、コロニアル屋根の場合、大概は「勾配」が急な屋根が多く、足場は必須になることが多いです。



ただすべてがすべてそうであるかということ、無くても大丈夫という勾配のコロニアルの屋根もあります。(下の写真の奥の建物の屋根がそうです)



塗り替えのお話をいただいた時「現場を見ないとわからない。是非、拝見させてください」と申し上げるのはこういうことがあるからなんですね。

以前、30坪以上の、高さは3階建て位の規模のお宅のお見積りをしたときに

「コロニアル屋根の塗り替えは今回は考えていない」

と、屋根以外の塗り替えのご依頼を受けたことがあります。

ご予算の関係で今回はとりあえず無しに・・・ということだったと記憶していますが、その方のご要望どおり、お見積りには屋根の分は入れませんでした。

ですが、今後のことも考えて、ご提案として一度の塗り替えでコロニアル屋根も視野に入れてみてはいかがでしょうか・・・と申し上げました。

と、いうのも、まずこちらのお住まいの屋根のこう配はとてもきつく、且つ屋根自体の形状も複雑なので、塗り替えの際、足場を屋根にかけることは“必須科目”です。

何も無い状態ですと、まともに立っていることすらできない位の勾配であり、傷み具合だったのです。その傷み具合からしても、対象から外すのはいかがなものかとも思いました。

“屋根の塗り替えのために足場をかける”ということはすなわち“お住まい全体にかける”ということになります。屋根だけにかけるというのは不可能ですからね。

大きなお住まいが故に、別の機会に屋根の塗り替えだけのために足場を“再度、お住まい全体に”かけるというのも、また大がかりなことですし、何より、その分の出費が大きくなってしまいます。

そんなことをご提案させていただいたところ、塗り替えの時期を今一度よく考えて、一度に済ませる方向で御検討するということになりました。

「コロニアル屋根」と「外壁とそこに付随するその他の部分」の塗り替えは、切り離さないでお考えになった方がよろしいかと思えます。

■編集後記



今年もあと3カ月を切りましたね。本当に早いものです。

まだ振り返るには少し早い・・・?ので、残りの日々、頑張っていきたいと思えます。

それとお知らせなのですが、当店のホームページを全面リニューアルすることにしました。

正直、私のみでは限界が……。そこでホームページのプロの方と一緒に作りこんでいくことにしたのです。完成しましたらこちらでもご紹介しますね。今号にも最後までお付き合いくださり、ありがとうございました。

発行者 上神谷裕治 (かみかべやゆうじ)

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402または090-1504-8833

先日もお問い合わせがこちらのブログからありました。ありがとうございます。

<http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

